

令和6年度 「志教育」 全体計画

様式1

宮城県水産高等学校

校 訓	
礼節を貴び 師長に順うべし 至誠を本とし 廉恥を重んずべし	忍耐を旨とし 業務を励むべし

本校の教育目標	
実学を重んじ、基礎的・基本的な知識・技術やそれらを活用できる力、規範意識・倫理観・命を大切にす る心、他者を認め思いやる心、健やかな体など「知・ 徳・体」の調和のとれた発達を図り、我が国の魚食文 化・水産業・海運業の双肩を担う人格・識見・力量を 身に付けた逞しい人材を育成する。	

生徒の実態、教師の願い	
石巻地域在住の生徒がほとんどであるが地域外通学者も少なからず存在する。そのうち約8割の生徒が就職を希望している状況である。宮水生として志と誇りを持って校内生活を送り、地域社会で活躍できる人材となるべく心技体の準備をしてほしい。	

保護者や地域の願い	
心身ともに健康で、望ましい人間関係を築き、充実した高校生活を送ってほしい。生徒個々に応じた進路希望を実現するため、きめ細かな指導をしてほしい。専門分野で社会に貢献できる人材に成長してほしいこと。さらには地域復興の先頭に立って活躍してほしい。	

「志教育」の目標	
<ol style="list-style-type: none"> ① 基本的な生活習慣を定着させる。 ② 基礎的・基本的知識・技術の習得に努め、基礎学力を向上する。 ③ 地域の復興や社会に貢献できる人材を育成する。 	

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
規則正しい生活習慣を身につけ、心身の健康に留意して、あいさつや身だしなみなど、礼節を重んじる態度を養う。集団生活や地域とのかかわりのなかで、状況に応じた適切なコミュニケーションができる能力を養う。	広大な海洋を学びの場として、知識技術の習得に努める。各種検定試験や資格取得にチャレンジするとともに、インターンシップや各類型の実習を通して、有用な体験の機会を多数持ち、自分の将来について積極的に行動がとれるよう考察を深める。	地域交流やボランティア活動はもとより、多くの機会をとらえて社会と地域に貢献する態度を養う。学校内においても常に社会との接点を意識しながら集団生活を送り、将来を見据えて自分の役割や責任を自覚する。

各教育活動における取組の観点	
各教科	主体的に基礎・基本的知識や技術の習得に努め、礼節や協調性を重んじる学習態度を身につける。
道徳	基本的な生活習慣を確立するとともに、海洋利用に関するマナーやルール等の学習から社会的な規範意識の醸成に努める。
総合的な探求の時間	前期は水産海洋基礎実習の振り返り活動をとおりして職業理解とキャリア形成を促す。後期は選挙制度などの講話や適性検査を通じて自らの社会との関わり方について思考を深める。
特別活動	ホームルーム活動や生徒会活動をとおりして、集団における社会性や協調性、コミュニケーション能力を育成する。
その他	部活動をはじめ、水産、海洋、港湾などの地域行事にも積極的に参加し、主体的に集団や地域にかかわる態度を身につける。

各学年の取組内容	
1年	「自己理解の深化」 進路目標を設定するうえで必要な基礎を築くために、自己について考察を深め、理解する。
2年	「進路目標の決定」 進路に関する情報を収集しつつ、それらを体験的に明確化して、自己の進路目標を決定する。
3年	「進路目標の達成」 一人一人具体的な進路目標を明確化するとともに、全員が各々の目標を達成する。

家庭との連携	
ホームページ、メール送信等を活用し、PTA活動や学校行事、公開授業などとおして、本校の教育に対する理解を深めていただき、社会に貢献できる人材の育成に協力を仰ぐ。	

地域・企業との協働	
ボランティアや水産、海洋、港湾などの地域行事などに積極的に参加して交流を深めるとともに、インターンシップや社会人講話などとおして、望ましい職業観・勤労観を涵養する。	